

第 3 1 期 事 業 報 告

〔 自 2019 年 4 月 1 日 〕
〔 至 2020 年 3 月 31 日 〕

株式会社NHKエデュケーショナル

I 会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及びその成果

(1) 当社を取りまく環境と成果

「NHKエデュケーショナル 2018～2020 年度 中期経営ビジョン」の 2 年目となる 31 期は、「いつでも どこでも だれでも “学びたい” に応えます」という経営の基本方針のもと、全社をあげて業務に取り組んできました。

31 期の業績は、前期と比較すると「減収・減益」となりました。売上高は、NHK 関係業務が、前期比 7 百万円減の 208 億 8 百万円。特集番組等の減少により減収となりました。自主事業は、前期比 7 億 99 百万円減の 42 億 48 百万円。大型イベントの減少等により減収となりました。

NHK 関係業務では、子ども幼児、学校教育、語学、美術、教養、趣味実用、科学健康などのジャンルを中心におよそ 1 万本の番組を制作しました。教育コンテンツ制作という当社の専門性を生かし、乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代に向けた多様な番組を生み出すと同時に、時代のニーズを先取りする番組の開発に力を注ぎました。

自主事業では、NHK の放送番組で培われたさまざまなノウハウを社会に還元し、各種コンテンツの制作・販売、イベントの企画・運営、メディアミックスなど、「イベント事業」や「デジタル関連事業」を中心に、多角的に展開してきました。

そして、将来を見据えた優秀な人材の確保と、教育コンテンツ制作における専門性の保持・継承・発展に積極的に取り組みました。

あわせて、「コンプライアンスの徹底」「適正な勤務管理と働き方改革」を推進し、“学び” に携わる企業としてモラルと志を常に高く維持できる組織・体制の強化に取り組むとともに、社会の変化に対応して「テレワーク環境の整備」や「情報セキュリティ対策」を行うなど業務の有効性・効率性の向上に努めました。

(2) 損益の状況

当期の売上高は、250 億 57 百万円となり、前期比 3.1%減、8 億 7 百万円の減収となりました。

売上原価は、230 億 48 百万円となり、前期比 2.8%減、6 億 68 百万円の減となりました。販売費及び一般管理費は、13 億 71 百万円でした。

損益については、営業利益 6 億 36 百万円、前期比 29.2%減、2 億 62 百万円の減益。営業外損益を加えた経常利益は、7 億 38 百万円で、前期比 26.1%減、2 億 61 百万円の減益となり、これに特別損益及び法人税等を加減した当期純利益は、4 億 83 百万円、前期比 25.8%減、1 億 68 百万円の減益となりました。

(3) 事業別の概況

【事業別売上高】

(単位：百万円)

区 分	第 3 1 期 (2019. 4. 1～2020. 3. 31)		第 3 0 期 (2018. 4. 1～2019. 3. 31)		増 減		
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率	
NHK関係業務	20,808	83.0%	20,816	80.5%	▲7	▲0.0%	
自 主 事 業	4,248	17.0%	5,047	19.5%	▲799	▲15.8%	
内 訳	コンテンツ制作	675	2.7%	762	3.0%	▲86	▲11.4%
	イベント実施	1,429	5.7%	2,026	7.8%	▲596	▲29.4%
	印税・権料ほか	841	3.4%	964	3.7%	▲123	▲12.8%
	拡大等受託事業	567	2.3%	630	2.4%	▲63	▲10.0%
	デジタル関連	733	2.9%	663	2.6%	70	10.6%
計	25,057	100.0%	25,864	100.0%	▲807	▲3.1%	

※金額については、単位未満を切り捨てて表示。

【NHK関係業務】

当社は、NHKの番組制作関連会社として、NHKからの受託業務である「美術・教養」「趣味・実用」「科学・健康」「教育」「語学」「子ども幼児」など幅広い分野にわたる教育・教養番組を、高い品質を保ちながら、専門性と創造性を発揮して効率的に制作しました。

2019 年度の制作本数は、定時番組と特集番組を合わせて、9,751 本（前年比 278 本減）です。このうち特集番組は 778 本でした。

＜定時・特集番組＞

○美術・教養分野

定時番組では、総合「日本人のおなまえっ!」「きじまりゅうたの小腹すいてませんか?」、Eテレ「先人たちの底力 知恵泉」、「やまと尼寺 精進日記」(他、BS4K)、BSP「美の壺」(他、Eテレ・BS4K)が安定した視聴率でリーチの向上にも貢献。新規に開発した番組では、障害者のアート作品を紹介するミニ番組「no art, no life」がEテレと国際、BS4Kで放送、全国の離島を訪ねて日本を再発見する「ニッポン島旅」はBSPとEテレで放送。好評を受け、新年度も継続となりました。特集番組では、BS1とNHKスペシャルで放送された「ボクの自学ノート」が「文化庁芸術祭」優秀賞などを受賞、BS1などで放送した「女優たちの終わらない夏、終われない夏」が放送人グランプリ優秀賞を受賞するなど高い評価を得ました。

4K・8K番組の制作も、昨年度に引き続き積極的に進めました。8Kでは、「ルーブル美術館 美の殿堂の500年」「国宝へようこそ」「オルセー美術館」と3つの大型美術番組シリーズを制作し、高い評価を得ました。その他、京都の宿の四季を4Kで綴った「京都山里の宿」や、日本各地の巨樹を4Kで紹介した「にっぽん巨樹の旅」なども好評を博しました。

○趣味・実用分野

「きょうの料理」では、新企画「父さんのきょうからキッチン」や地域の食材を紹介する「つくろう! にっぽんの味47」が好評でした。「趣味の園芸」では「まちをニワに」「大江戸花競(くら)べ」などの新機軸をお届けしました。

「あさいち」では、「クイズとくもり」「みんな! ゴハンだよ」「プレミアムトーク」「特選! エンタ」といった人気コーナーを継続して制作しました。「ごごナマ・知っトク! らいふ」では、番組連動で生活情報を提供するHP「NHKらいふ」の利用者数が増加。放送が夜7時半になった「サラメシ」は、より多くの視聴者のみなさんに見ていただくことができました。

また、総合の特集番組として、障害がある人もない人も楽しんでいただけるユニバーサル放送「推しナビ! パラ陸上 世界選手権 2019」を放送、他にも長時間生放送の特集番組として、「きょうの料理は見た! 平成 味の30年史」「お取り寄せ不可!? 列島縦断 宝メシグランプリ 2019」を制作しました。

BSPでは定時の「極上！スイーツマジック」の他、特集番組「お宝を掘り当てろ！！アンティーク鑑定旅」や「家族になろうよ」などを制作しました。

4Kでは、浮世絵に江戸のリアルな暮らしぶりを見る「浮世絵 EDO-LIFE」に加え、国際放送向け英語版の「Ukiyoe EDO-LIFE」の制作も始めました。

○科学・健康分野

確かな医療健康情報を伝える「きょうの健康」「チョイス@病気になったとき」は、食と健康や歯の悩みなど新たなテーマも取り上げ、多くの反響が寄せられました。ポータルサイト「NHK健康チャンネル」は、1週間あたりの訪問者数が9月に100万を突破、NHKを代表するサイトに成長しました。科学や自然のおもしろさを伝える「すイエんサー」「なりきり！むーにゃん生きもの学園」は、歌やダンスなどのミニ動画を発信し、好評を得ました。国際放送では、「Science View」「Ask the Doctor」「Doctor's Insight」「BOSAI:An Educational Journey」「8K Documentary:The Microscopic World of iPS Cells」を制作、日本の科学技術と医学健康情報を世界に発信しました。

4K・8K番組の制作も積極的に進めました。4Kでは、宇宙番組「コズミックフロント☆NEXT」「スペース・スペクタクル」、子ども向け医学番組「バビベボボディ」などを制作。8Kでは、国際宇宙ステーションで撮影された映像による「8Kアースウォッチャー」シリーズの他、「きょうは七夕！宇宙旅2時間スペシャル」「月着陸50年ムーンウォーカーが見た絶景」などを生放送も含めて制作。パブリックビューイングでも大きな注目を集めました。

○教育分野

新番組では、中高生向けの「アクティブ10理科」、「アクティブ10プロのプロセス」(総合)、「アクティブ10ミライのしごと一く」(キャリア教育)を制作。新学習指導要領に対応したアクティブ・ラーニングを意識し、学校現場で高く評価されました。また、趣味やスポーツに熱中する若者を紹介する「沼にハマってきいてみた」は2年目を迎え、これまで以上に多岐に亘るテーマを紹介し10代視聴者から高い支持を得ました。

高校講座では、新学習指導要領を踏まえて、主体的に学ぶ意欲を呼び起こす演出を追求しました。「生物基礎」では、専門家が自らの研究内容を紹介しながら、その分野の魅力を語るスタイルに挑戦。

また、2019 年度から実施された「総合的な探究の時間」に対応する番組を開発し、通信制だけでなく全日制・定時制の教師からも注目を集めました。

特集では、小学校の新学習指導要領にテニスが盛り込まれることを受けて「松岡修造の人生はテニスだ！with はりきり体育ノ介」を制作。またパラスポーツに挑む子どもを応援する「がんばれ！パラスポキッズ」を制作しました。

○語学分野

2020 年度に小学校で実施される新学習指導要領を見据え、小学生向けラジオ番組「基礎英語 0」を 15 分に拡大。また中学生向けには新たに「知りたガールと学ボーイ」をスタートし、バラエティ的な演出とともに、新学習指導要領に沿った“コミュニケーションにおいて活用できる技能”を紹介しました。

ヨーロッパ言語では、芸能人を旅人に据えた海外ロケ番組「旅する〇〇語」の第 4 弾を制作。アジア言語では、2012 年度以来となる「アラビア語」の新作を制作、モロッコを舞台に会話で使えるアラビア語を扱いました。

国際放送では、外国人向けの日本語番組「Easy Japanese for Work」を新たに立ち上げ、ビジネスで使われる日本語やビジネス習慣を伝える内容としました。同時に、働きに来る人の多くがアジア圏である現状を踏まえ、中国語版、ベトナム語版も制作し、英語版国際放送局の VOD で配信しました。

また、海外番組の日本語版制作も行ないました。「ソーイング・ビー」はアマチュア裁縫名人を決めるリアリティショー、「ボディーコーチ」は料理と運動を紹介するレクチャー番組。ともに SNS を中心に話題となっただけでなく、従来の“語学番組制作”以外の売上の柱を作ることに寄与しました。

○子ども幼児分野

「いないいないばあっ！」「おかあさんといっしょ」「みいつけた！」の 3 番組を核に、「にほんごであそぼ」「ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン」などのデイリー番組と、「ピタゴラスイッチ」「デザインあ」「ノージーのひらめき工房」「ミミクリーズ」のウィークリー番組に加え、さまざまな「遊び」を紹介する 5 分の新番組「あそびバー～Eテレあそびセレクション～」をスタートしました。親子でできる遊びや、人気番組のコーナー動画を紹介して遊びのアイデアを提供し、子どもの豊かな発達発育に資することを目的としています。番組で取り上げた動画は、子ども向けアプリ「NHKキッズ」にも提供。

スマートフォン等でも視聴することができます。

また「おかあさんといっしょ」は放送開始 60 周年を記念し、夏期特集や記念コンサートには歴代出演者・キャラクターが登場。家族 3 代にわたって楽しんできた番組の社会的な意義を評価され、第 67 回菊池寛賞を受賞しました。

特集では、BS の子ども番組が大集合した公開収録番組「ワンパコ&どーも DE おとうさんといっしょ」を放送、他にも「デザインあ おとなスペシャル」、開発番組「マチスコープ」の第 3 弾を制作しました。また、「いないいないばあっ!」「おかあさんといっしょファミリーコンサート」「てれび絵本」「デザインあ」では 4K 一体制作が定着しています。

○番組の主な受賞歴

☆ニューヨーク・フェスティバル

- ・ドキュメンタリー：コミュニティー・ポートレート部門 銀賞
「FUKUSHIMA Time/Lapse」(福島タイムラプス・国際版)

☆カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル 2019

- ・ブロンズ(銅賞) 「バビブベボディ」番組中の臓器 CM コーナー

☆第 35 回 ATP 賞

- ・奨励賞
ドラマ部門「女川 いのちの坂道」
ドキュメンタリー部門「世界は Tokyo をめざす
55 歳のオリンピック 笑顔の理由〜ルクセンブルク 卓球〜」

☆第 67 回 菊池寛賞

「おかあさんといっしょ」

☆ミラノ国際スポーツ映像祭

- ・ドキュメンタリー部門 奨励賞
BS1 スペシャル「ビッグウェーブサーファー〜世界最大の波を求めて〜」

☆映文連アワード 2019

- ・優秀企画賞
「アナザーストーリーズ 運命の分岐点
パク・クネ 弾劾の舞台裏〜そのとき韓国は沸騰した〜」

☆令和元年度(第 74 回)文化庁芸術祭

- ・ドキュメンタリー部門 優秀賞
BS1 スペシャル「ボクの自学ノート〜7 年間の小さな大冒険〜」

☆第 24 回 アジア・テレビ賞

- ・子ども番組部門 最優秀賞 「バビブベボディ 赤ちゃん」

☆ギャラクシー賞

- ・月間賞 (2019 年 11 月度)

BS1 スペシャル「女優たちの終わらない夏・終われない夏」

☆第 23 回 文化庁メディア芸術祭

- ・エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品
「シャキーン! ストリート・デストロイヤー」

☆ヤング映像クリエイターを励ます賞

- ・優秀賞 玉林亜理 P D 「浮世絵 EDO—LIFE 福袋 江戸っ子の夏」

<ホームページ、データ放送制作等>

個別番組の内容を補完するサイトのほか、語学、子ども、趣味実用、健康など、カテゴリ別のポータルサイトも制作し、デジタル社会の‘いつでもどこでも’の活用を応援しています。

「Eテレ お願い!編集長」サイトでは、視聴者からリクエストの多い番組を再放送するという番組連動の試みを継続し、好評を得ました。

生活情報を発信するポータルサイト「NHKらいふ」では、料理・ファッション・園芸・住まいなど多彩なジャンルで動画や記事を紹介しました。

医療・健康情報ポータルサイト「NHK健康チャンネル」では、「きょうの健康」や「チョイス@病気になったとき」に加え、番組連携の強化とまとめサイトの充実により、訪問者数が飛躍的に伸びました。

「NHKゴガク」では、振り返り学習機能の充実や番組の音声ストリームとの連携など「学び」の要素を強化し、アプリのダウンロード数は 180 万を超えました。

「東京 2020 パラリンピックサイト」では、競技やルール紹介に加え、パラアスリートの魅力や驚異的な身体能力を伝えるショート動画を制作し、パラリンピックの認知度アップに努めました。

またEテレ朝の幼児ゾーンでは、登校前の子どもがデータ放送を楽しみ、学校でも話題にできるようなコンテンツを「にほんごであそぼ」「シャキーン!」など5つの定時番組で提供しました。さらに5月にサービスを開始したアプリ「NHKキッズ」に番組のショート動画や遊びのヒントとなる動画を提供しました。

＜日本賞＞

NHKが主催する教育コンテンツの国際コンクール「日本賞」。31期も前期に引き続き、審査コーディネート、デジタル広報、関連イベント運営などさまざまな業務を受託し、教育コンテンツ制作の知見をベースに、NHKへの国際的信頼を高めることに貢献しました。

以上、これらNHK関係業務の売上高は、208億8百万円で、前期比7百万円(0.04%)の減収となりました。

【自主事業】

NHKグループにおける教育コンテンツ制作集団としての専門性や企画力を最大限に活用し、教育コンテンツを放送以外のメディアや事業を通して、広く社会に還元するための良質かつ多角的な事業展開を行いました。

2019年度は、前年度に引き続き「イベント事業の拡充」と「デジタル関連事業の強化」を柱に据え、さらには国際展開事業や4K・8Kなど新規事業にも積極的に挑戦しました。

① コンテンツ制作・販売事業

ア. 市販DVD関連

市販DVDは、主力分野の子ども幼児で、「おかあさんといっしょ」の体操のお兄さん、パントのお姉さんの卒業企画DVD「ブンバ・ボーン！パント！スペシャル！」などが好調だったが、過去に発売した旧譜の追加発注が伸び悩み、社全体の売上は、前年度に比べマイナスになりました。

子ども幼児以外の分野では「趣味どきっ！そろそろスマホ」を発売しました。

イ. その他のコンテンツの受注制作

美術館などで上映される展示映像制作は、Eテレ「日曜美術館」の番組制作ノウハウを生かした高いクオリティが好評で、全国各地の美術館や博物館などからさまざまな映像の制作を受注しています。

また、映画「おかあさんといっしょ」第2弾の制作、超高精細映像では舞台「海辺のカフカ」の4K映像制作や、宇宙をテーマにしたプラネタリウム映像の4K制作など、専門性を発揮して幅広い分野の映像制作を行いました。

国際展開では、中国・ベトナムに続き、ミャンマーでも「いないいないばあっ！」現地オリジナル版の制作を支援。2019年度に放送を開始しました。また、ベトナムでは商品化の実証実験を行いました。

これらコンテンツ制作・販売事業の売上高は6億75百万円で、前期売上高と比較しますと、86百万円（11.4%）の減収となりました。

② イベント企画・実施事業

幼児向けのアリーナイベントは、夏の「おかあさんといっしょ スペシャルステージ」（さいたま・大阪）を開催、合わせて4日間12公演に及び、13万9千人を超える家族連れに楽しんでいただきました。一方、冬の「ワンワンといっしょ！夢のキャラクター大集合」は、諸事情により開催されませんでした。

「デザインあ展」を4月から6月に山梨県立美術館で、6月から9月には熊本市現代美術館で、そして12月から翌2月まで滋賀の佐川美術館で開催しました。入場者数は、山梨では8万1千人以上、熊本では10万5千人以上、滋賀では14万1千人以上の大盛況となり、子どもや若者から大人、高齢者まで幅広い層に番組の魅力やデザインの奥深さを伝えました。

「第19回東京国際キルトフェスティバル」は、20万2千人を超えるキルトファンで熱気に包まれました。また9月には「オータムマーケット2019」を関連イベントとして開催しました。

新規では、「ばらフェスタ2019」（5月・横浜）、「こども科学博」（8月・京都）を開催。「ばらフェスタ2019」には12300人、「こども科学博」には12770人が来場しました。また話題の番組「みんなで筋肉体操」関連イベントも各地で開催しました。

その他、健康や教育関連のフォーラム、「びじゅチューン！」の展覧会やミニイベント、遊びと運動を組み合わせた「遊育（あそいく）イベント」など、当社の専門性を生かした多彩なイベントを展開しました。

これらイベント事業の売上高は、14億29百万円で、前期の売上高と比較しますと、5億96百万円（29.4%）の減収となりました。

③ 印税・権利事業、国内共同制作

キャラクター関連では、「いないいないばあっ!」のおむつへの提供をはじめ、「おかあさんといっしょ」「みいつけた!」「びじゅチューン!」などでさまざまな商品が販売されました。

書籍では、「きょうの料理」「きょうの健康」「趣味どきっ!」などの定番に加え、「バビブベボディ」や、増刷を重ねた「やまと尼寺精進日記2」など人気番組の書籍化を行ったほか、「カガクノミカタ」「スマホリアルストーリー」「なりきり!むーにゃん生きもの学園」など学校図書館版書籍の出版が相次ぎました。

国内共同制作では、「オトッペ」を制作しました。

これら印税・権利事業、国内共同制作の売上高は、8億41百万円で、前期の売上高と比較しますと、1億23百万円(12.8%)の減収となりました。

④ 放送大学学園等受託事業

放送大学学園からの受託業務については、「授業番組」33科目454本(夏期集中科目16本、部分改訂3本を含む)を制作しました。このほか、「授業科目案内」29本、BSキャンパスexの生涯学習支援番組「放送大学アーカイブス・知の扉」40本、「キャリアアップ・放送大学アーカイブス・日本語基礎A」16本、「特別講義セレクション」22本、exキャンパス特集「大学入試をどう考えるのか」4本、「16番目の授業」2本、スペシャル講演「日本の近代化を知る7章」4本を受託しました。

放送大学学園等受託事業の売上高は、5億67百万円で、前期の売上高と比較しますと、63百万円(10.0%)の減収となりました。

⑤ デジタル関連事業

8K画質の静止画を自在に操作しながら、付加情報とともに参照できる「8Kコンテンツビューアー」では、「国宝 聖徳太子絵伝」の英語版を新たに制作し、11月の東京国立博物館での展示では、国内外2万人の方々に体験していただき、超高精細8K画像の魅力と今後の可能性を強く訴えました。

「NEDデジタル基盤」を利用したビジネス展開は、運用8年目に入りました。動画や音声などの素材を蓄積し教材等に組み込んで提供する事業の

ベースとなるもので、動画配信や認証サービスに加え、料理レシピのAPIデータ提供など新しいタイプの事業に役立っています。

その一つ、「英語教材作成支援システム（基礎英語LEAD）」は、学校現場や教育委員会への訪問営業が実を結び、全国の336校で利用されており、販路を広げる努力を続けています。料理レシピを提供する事業も、アプリを中心に広がりを見せています。

この他、アスリートや指導者向け教材アプリの開発をJOCから受注するなど、様々な教材の制作を行いました。

6月には、IT教育分野では日本最大の展示会「第10回教育ITソリューションEXPO」に出展、さまざまな展開ビジネスのモデルをPRし、パートナーの獲得に努めました。

デジタル関連事業の売上高は、7億33百万円で、前期の売上高と比較しますと、70百万円（10.6%）の増収となりました。

以上、各事業を総合した自主事業の売上高は、42億48百万円となり、前期と比較しますと、7億99百万円（15.8%）の減収となりました。

2. 設備投資の状況

当期の設備投資総額は1億72百万円で、内容は以下のとおりです。

(単位：百万円)

資産の種類	取得価額	備考
有形固定資産・建物	3	内装工事（建物附属設備）
有形固定資産・工具器具備品	78 36	原盤制作 着ぐるみ制作、サーバーほか
（有形固定資産 計）	(118)	
無形固定資産・ソフトウェア	22	社内システム機能追加ほか
無形固定資産・番組利用権	30	番組ビデオグラム化権
（無形固定資産 計）	(53)	
（有形・無形固定資産 計）	(172)	

※金額については、単位未満を切り捨てて表示。

3. 資金調達の状況

前記の設備投資の資金は、自己資金で充当しています。

4. 対処すべき課題

2019年度末から拡大した新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制約され、社会的・経済的な不安も広がっています。そうした中、2020年度はさらに多様な形で「学び」の機会を提供し、人々の安全・安心を支えることが重要になると考えます。NHKエデュケーショナルは、「いつでも どこでも だれでも “学びたい” に応えます」という経営方針のもと、より視聴者のみなさまの信頼と期待に応える豊かで質の高い番組やサービスを提供し、多角的な展開も進めます。

NHK関係業務では、「2020年度国内・国際放送番組編集の基本計画」に沿って、教育分野における高い専門性を生かし、あらゆる年齢層の教育・教養・生活・福祉に資するコンテンツを開発・制作します。新型コロナウイルス感染症の影響で制作が中断したり、新たな制作・演出手法が求められたりしているため、NHKと連携しながら適切に対応します。延期となった東京オリンピック・パラリンピックについては、様々な関連番組やデジタルコンテンツの制作に加えてユニバーサル放送実施に向けてさらなる準備を重ね、共生社会の実現に一層貢献します。さらに4K・8Kの超高精細映像と迫力ある音響を生かした番組も届けます。

自主事業では、教育コンテンツ制作を基本に、将来を見据えた事業の開発・充実に努めます。多様化し拡大するデジタルコンテンツへの需要に着実に応え、未来につながるノウハウの蓄積を進めます。NHKや他の関連団体とも連携し、番組の海外販売やアジアでの制作支援などで国際展開に貢献するとともに、4K・8K技術を活用した事業や、新たな教材開発などにも積極的に取り組みます。なお、イベントを中心に多くの事業で新型コロナウイルス感染症の影響による延期や中止が相次いでいますが、それぞれの事情に合わせ、お客様の安全を最大限に考慮しながら、必要な対応を行います。

組織ガバナンスにおいては、グループ経営の方針にもある「効率的で透明性の高い組織運営」をさらに推進します。働き方改革では、創造性豊かな職場作りのため、業務フローの見直しやスクラップを進めます。新型コロナウイルス感染症拡大への対応では、3月に社長を本部長にした対策本部を設置。対応マニュアルの策定や周知も行いました。今後もNHKと連携を図りながら、社員・スタッフ・出演者が安心して働ける環境の確保を最優先に、企業経営を行います。

5. 財産及び損益の状況の推移

項 目	第28期 (2016年度)	第29期 (2017年度)	第30期 (2018年度)	第31期 〔当期〕 (2019年度)
売 上 高 (百万円)	24,471	25,978	25,864	25,057
経 常 利 益 (百万円)	973	1,404	1,000	738
当期純利益 (百万円)	632	914	651	483
1株当たり当期純利益 (千円)	316	457	325	241
総 資 産 (百万円)	9,752	10,958	10,780	10,419
純 資 産 (百万円)	5,789	6,402	6,501	6,376
1株当たり純資産 (千円)	2,894	3,201	3,250	3,188

※金額については、単位未満を切り捨てて表示。

6. 重要な親会社の状況

(1) 親会社との関係

当社の親会社は、日本放送協会であり、当社の株式1,340株（出資比率67.0%）を保有しています。

当社は、同協会の委託による放送番組の制作、これらに関連する業務、同協会が制作した番組の利用権の購入などを行っています。

(2) 親会社との間の取引に関する事項

当社は同協会との取引については、当社及び株主の利益を損なうことがないよう、同協会が定める「業務委託基準」に則り、「社会的に公正かつ妥当な」金額で実施しています。当社取締役会は、これらの取引が当社の利益を害するものではないと判断しています。

7. 主要な事業内容

- (1) 放送番組等の企画、制作、購入
- (2) ホームページ作成等デジタル関連業務
- (3) 幅広い世代を対象にした教育、教養コンテンツ制作・販売
- (4) イベント・シンポジウム等の企画・実施
- (5) 各種権利ビジネスや編集・出版関連業務
- (6) 放送大学関連番組の制作

なお、事業の主体を占めるNHK関係業務及び自主事業の主要なものは、次のとおりです。

【NHK関係業務】

	主 な 受 託 番 組 な ど
総合テレビ	<p>○日本人のおなまえっ！ ○密会レストラン ○きじまりゅうたの小腹すいてませんか？ ○きじまりゅうたの小腹がすきました！ ○NHKのなかのひと ○平野レミの早わざレシピ ○世界の居酒屋 10min ○ルーブル美術館 美の殿堂500年の旅 ○NHKスペシャル「ボクの自学ノート」 ○明日へ つなげよう「写真のチカラ～西日本豪雨から1年」 ○ドラレコは見た！ ちょっといい話 ○あさいち ※プレミアムトーク、特選！ エンタ、みんな！ ゴハンだよ、クイズとくもり、わがままホビー、グリーンスタイル他 ○ごごナマ2時台「知っトク！らいふ」 ○サラメシ ○サラメシスペシャル ○全問リアル 就活QⅡ ○面接室へ GO! ○きょうの料理は見た！ 平成 味の30年史 ○お取り寄せ不可！？ 列島縦断 宝メシグランプリ 2019 ○推しナビ！ パラ陸上 世界選手権 2019 ○先どり きょうの健康 ○東洋医学ホントのチカラ 冬のお悩み一挙解決 SP</p>
Eテレ	<p>○先人たちの底力 知恵泉 ○ふるカフェ系 ハルさんの休日 ○日曜美術館 ○びじゅチューン！ ○うたテクネ ○やまと尼寺精進日記 ○デザインミュージアムをデザインする ○#ジューダイ ○ハートネットTV ○みんなの手話 ○レイチェルのスウェーデンのキッチン ○レイチェルの旅 ときどきキッチン in 山梨 ○100分 de 名著 ○100分 de ナショナルリズム ○SWITCHインタビュー 達人達 ○NHK短歌 ○NHK俳句 ○NHK 俳句増刊号「歳時記食堂」 ○三十一文字の思い 震災短歌からたどる“復興” ○no art, no life ○落語ディーパー！ ○アニメ オニのサラリーマン ○365日の献立日記 ○E TV特集 ・巨樹の声を聞きたい～倉本聰と千年の命 ・三鷹事件70年後の問い ・三池炭鉱・与論からの移住120年 ・伊集院静 ダビンチをめぐる冒険 ・すぐそばにいる他者の物語 ・人知れず表現し続ける者たちⅢ ○あしたも晴れ！ 人生レシピ ○又吉直樹のへウレーカ！ ○趣味どきっ！ ○まる得マガジン ○グレーテルのかまど ○Eテレ 0655/2355 ○ごちそうぐ DJ ○きょうの料理 ○きょうの料理ビギナーズ ○趣味の園芸 ○趣味の園芸 やさいの時間 ○趣味の園芸 京も一日陽だまり屋 ○浮世絵 EDO-LIFE ○すてきにハンドメイド ○ガールズクラブ ○将棋/囲碁フォーカス ○NHK 杯テレビ将棋/囲碁トーナメント ○きょうの健康 ○チョイス@病気になったとき ○すイエんサー ○なりきり！ むーにゃん生きもの学園 ○沼にハマってきいてみた ○アクティブ 10 理科 ○アクティブ 10 ミライのしごと一く ○NHK 高校講座 ○アクティブ 10 プロのプロセス ○がんばれ！ パラスポキッズ</p>

Eテレ	<p>○松岡修造の人生はテニスだ！with はりきり体育ノ介 ○世界へ発信！SNS英語術 ○おもてなしの基礎英語 ○基礎英語0～世界エイゴミッション～ ○リトル・チャロ ○ボキャブライダー on TV ○知りたガールと学ボーイ ○エイゴビート ○ロシアゴスキー ○ソーイング・ビー ○旅するイタリア語・ドイツ語・フランス語・スペイン語 ○テレビでハングル講座・中国語 ○アラビヤ・シャベリーヤ！ ○ワタシの見たニッポン～第60回外国人による日本語弁論大会～ ○いないいないばあっ！ ○ワンワンわんだーらんど ○おかあさんといっしょ ○みいつけた！ ○みいつけた！さん ○コレナンデ商会 ○コレナンデサンデー ○ミミクリーズ ○ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン ○あそびバー ○お願い！編集長 ○すくすく子育て ○まいにちスクスク ○ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！ ○ノージーのひらめき工房 ○オトッペ *国内共同制作 ○シャキーン！ ○てれび絵本 ○ピタゴラスイッチ ○デザインあ ○ビットワールド ○にほんごであそぼ ○えいごであそぼ with Orton ○バビブベボディ ※国際共同制作 ○決定！すくすくアイデア大賞2019 ○おかあさんといっしょファミリーコンサート ○正月3番組特番（おかあさん、みいつけた！、ニャンちゅう） ○デザインあ おとなスペシャル ○マチスコープ</p>
BS1	<p>○奇跡のレッスン ○世界はTokyoをめざす ○BS1スペシャル ・知られざる絆～日本とローマ教皇 400年の絆～ ・ヒロシマの画家 四國五郎が伝える戦争の記憶 ・ボクの自学ノート ・キューバ100万人の大行進 ・女優たちの終わらない夏・終われない夏 ・8K顕微鏡ドキュメント～iPS細胞の世界～ ○ザ・ヒューマン ・世界中で愛される絵本作家 オールズバーグ ・女ひとり ドイツ茶事行脚 ○師弟物語「田中将大×野村克也」 ○地球リアルニーハオ小朋友 ○our SPORTS! ○BOSAI学びの旅「水害編」</p>
BSP	<p>○アナザーストーリーズ 運命の分岐点 ○ヤミツキ人生！ ○美の壺 ○美の壺スペシャル「日本の避暑地」「TOKYO 1964」 ○やまと尼寺「くいしんぼ日記」「くいしんぼ日記 ふたたび」 ○巨樹百景 神様の木に会う ○本能寺の変サミット2020 ○トコトコトラム ○中国王朝 英雄たちの伝説 ○偉人たちの健康診断 ○骨の髄まで歌います ○ぐっさんのニッポン国道トラック旅！ ○ねこ育て いぬ育て ○行くぞ！最果て！秘境×鉄道 ○驚き！ニッポンの底力 自動車王国物語3 ○探検！世界の動物園の舞台裏 ウィーン・シェーンブルン動物園 ○探検！世界の水族館の舞台裏 アメリカ・フロリダ水族館 ○ドラマ「甲子園とオバーと爆弾なべ」 ○京都・山里の宿 ○極上！スイーツマジック ○お宝を掘り当てろ！！アンティーク鑑定旅 ○家族になろうよ ○世界らん展2020～花と緑の祭典～</p>

BSP	<p>○大使夫人のおもてなし ○ぬくもりの芸術 キルトが紡ぐ世界 ○趣味どきっ！プレミアム 大使夫人のおもてなしスペシャル ○コズミックフロント☆NEXT ○絶景カメラ尾瀬 ○おとうさんといっしょ ○みんなDE どーもくん ○ワンワンパッコロ！キャラともワールド ○異世界ホテル旅 ○自転車旅 ユーロヴェロ70000キロ ○ワンパコ&どーも DE おとうさんといっしょ BS こども番組大 集合スペシャル ○ニッポン知らなかった選手権 実況中！</p>
R2	<p>○カルチャーラジオ ○音で訪ねる ニッポン時空旅 ○社会福祉セミナー ○文化講演会 ○こころをよむ ○私の日本語辞典 ○仕事学のすすめ ○古典講読 ○朗読 ○NHK高校講座 ○伝えたい！わたしの高校生活 ○世界へ発信！ニュースで英語術 ○英会話タイムトライアル ○基礎英語1・2・3 ○ラジオ英会話 ○遠山顕の英会話楽習 ○高校生からはじめる「現代英語」 ○入門・実践ビジネス英語 ○ボキャブライダー ○エンジョイ・シンプル・イングリッシュ ○まいにち中国語・ハングル講座・フランス語 イタリア語・スペイン語・ドイツ語・ロシア語 ○ポルトガル語入門・ステップアップ ○アラビア語講座 ○食べて！歌って！まるごとユーロ！ ○おもてなしの中国語 ○おもてなしのハングル ○レベルアップ中国語・ハングル</p>
FM	<p>今日是一年「家族三世代NHKキッズソング」三昧</p>
国際	<p>○Her Story ○Close to ART ○no art, no life ○Ukiyoe EDO-LIFE ○Science View ○BOSAI: An Educational Journey ~Flood Edition ○Ask the Doctor ○Doctor's Insight ○8K Documentary: The Microscopic World of iPS Cells ○Little Charo ○Face to Face ○Japanology Plus ○Dining with the Chef ○3Days Dare*Devils ○Barakan Discovers Tokyo ○Barakan Discovers Tohoku ○Pythagora Switch mini</p>
4K・8K	<p>○やまと尼寺精進日記（4K） ○日曜美術館（4K） ○美の壺（4K） ○行くぞ！最果て！秘境×鉄道（4K） ○ルーブル美術館 美の殿堂の500年（8K） 第3集 革命とナポレオンのルーブル 第4集 永遠の美を求めて ○ルーブル美術館 美の殿堂500年の旅（8K） ○見れば見るほど面白い！8K国宝スペシャル（8K） ○国宝へようこそ（8K） ・第1集 法隆寺 ・第3集 迎賓館赤坂離宮 ○世界で一番美しい本 フランス・12か月の愛おしい暮らし（8K） ○オルセー美術館（8K） ・I 太陽の手触り ・II 月の肌触り ○8Kオリパラ PR コンテンツ「Beautiful Beast」（8K） ○謎の国宝 鳥獣戯画 “楽しい” はどこまで続く？（8K） ○I COM展示映像（8K マルチ画面による展示映像） ○no art, no life（4K） ○萩焼の至宝・四代の三輪休雪（4K） ○ヒロシマの画家 四國五郎（4K）</p>

4 K・8 K	<ul style="list-style-type: none"> ○完全版 巨樹 神様の木に会う (4 K) ○京都・祇園 紗月の四季 (4 K) ○京都・山里の宿 (4 K) ○ここまで見える! 8K でよみがえる幕末・明治の日本 (8 K) ○人知れず表現し続ける者たちⅢ (8 K) ○女優たちの終わらない夏・終われない夏 (4 K) ○ドラマ「甲子園とオーバーと爆弾なべ」(4 K) ○浮世絵 EDO-LIFE (4 K) 福袋 (4 K) ○極上! スイーツマジック (4 K) ○バビブベボディ ※国際共同制作 (4 K) ○コズミックフロント☆NEXT (4 K) ○スペース・スペクタクル (4 K) ○8 Kアースウォッチャー from 国際宇宙ステーション ○きょうは七夕! 宇宙旅 2時間スペシャル (8 K) ○月着陸50年 ムーンウォーカーが見た絶景 (8 K) ○いないいないばあっ! (4 K) ○デザインあ (4 K) ○てれび絵本 (4 K) ○おかあさんといっしょファミリーコンサート (4 K) ○自転車旅 ユーロヴェロ70000キロ (4 K)
イベント・デジタル・HP他	<ul style="list-style-type: none"> ○日本賞 ○サイエンススタジアム 2019 ○Eテレ お願い! 編集長 ○NHKらいふ ○NHKゴガク ○NHK健康チャンネル ○東京 2020 パラリンピックサイト ○キッズワールド ○NHKキッズ関連業務

【自主事業】

	主 な 事 業
各種ソフト制作	<ul style="list-style-type: none"> ○「いないいないばあっ!」「おかあさんといっしょ」「みいつけた!」「えいごであそぼ」等幼児向けDVD・BD ○「映画おかあさんといっしょ すりかえかめんをつかまえろ!」 ○美術・健康・趣味・語学・教育関連のDVD・BD・CD ○各種教育教材 ○展覧会等展示映像 ○4K・8K映像コンテンツ ○料理関連DOD（ディスク・オンデマンド）
イベント実施	<ul style="list-style-type: none"> ○「いないいないばあっ!」「おかあさんといっしょ」その他幼児向けイベント ○デザインあ展 ○東京国際キルトフェスティバル ○健康・医学・教育関連シンポジウム ○科学・実験・教育・美術・料理関連等イベント ○遊育（あそいく）イベント ○日本健康マスター検定 ○大学セミナー ○ばらフェスタ2019 ○こども科学博 ○Nスポ! はりきり体育ノ介イベント ○「びじゅチューン!」関連イベント・コンサート
権料・印税ほか	<ul style="list-style-type: none"> ○映像ライセンス、出版印税、キャラクター、音楽出版、音源事業など ○TVシンポジウム ○国内共同制作番組「オトッペ」「キャラとおたまじゃくし島」
大学関連業務	<ul style="list-style-type: none"> ○放送大学学園受託業務 ○MOOC等のインターネットデジタル教材 ○大学教員用教育コンテンツ ○インターネット放送局 ○シンポジウム・展示館等の上映用コンテンツ ○プレースメントテスト
デジタル関連	<ul style="list-style-type: none"> ○自主ウェブ事業 「みんなのきょうの料理」「ゴガクル」「すくコム」 ○英語教材作成支援システム ○電子辞書、教育クリップ、デジタルサイネージ ○eラーニング教材（高校/大学向け教科、語学） ○VOD映像提供、ライブビューイング ○スマートフォンアプリ、着うた
国際展開	<ul style="list-style-type: none"> ○制作支援・現地版制作（ベトナム、ミャンマー、中国）

8. 主要な事業所

本社
内部監査部、特集文化部、生活部、
科学健康部、教育部、語学部、こども幼児部、
デジタル推進室、事業推進室、経営総務室

東京都渋谷区宇田川町7番13号
第二共同ビル

9. 従業員の状況

従業員数	前期末比増減数
283名	8名増

<内訳>

区分	転籍者	出向者	社員	契約社員	計
男	35人	85人	39人	9人	168人
女	4	45	64	2	115
計	39	130	103	11	283

(注) 常勤役員7名は含めていません。

10. 主要な借入先

該当事項はありません。

II 会社の株式に関する事項

1. 発行可能株式総数 8,000株
2. 発行済株式の総数 2,000株
3. 株主数 8名

4. 株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
日本放送協会	1,340株	67.0%
(株)NHKエンタープライズ	190株	9.5%
(株)NHKグローバルメディアサービス	90株	4.5%
(株)NHKプロモーション	90株	4.5%
(株)NHKアート	90株	4.5%
(株)NHKテクノロジーズ	90株	4.5%
(株)NHK出版	90株	4.5%
(学)NHK学園	20株	1.0%

Ⅲ 会社の役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の氏名等

地 位	担 当	氏 名	重要な兼職の状況
代表取締役社長		掛 川 治 男	(株)NHKエンタープライズ 取締役 (株)NHK出版 取締役 (株)NHKプロモーション 取締役
専務取締役	事業推進担当	川 野 芳 水	NHKコスモメディアヨーロッパ 取締役
常務取締役	制作担当	藤 川 大 之	
取締役	制作担当	坂 上 浩 子	
取締役	経営総務担当	加 藤 潔 行	
取締役	制作担当	手 島 雅 彦	
取締役 (非常勤)		青 柳 正 規	東京藝術大学社会連携センター 特任教授 山梨県立美術館 館長 富士山世界遺産国民会議 理事長 多摩美術大学 理事長
取締役 (非常勤)		森 永 公 紀	(株)NHK出版 代表取締役社長
取締役 (非常勤)		安 川 尚 宏	日本放送協会 制作局制作主幹
取締役 (非常勤)		石 田 亮 史	日本放送協会 関連事業局専任部長
監査役		西 井 友 佳 子	西井公認会計士事務所 公認会計士
監査役 (非常勤)		小 田 橋 昭 仁	日本放送協会 内部監査室監査部専任部長

(注) 当期の取締役及び監査役の異動は、次のとおりです。

1. 就任 2019年6月21日付で、川野芳水氏が専務取締役に、藤川大之氏が常務取締役に就任しました。
なお掛川治男氏は代表取締役社長に、坂上浩子氏、加藤潔行氏、手島雅彦氏は取締役に、青柳正規氏、森永公紀氏、安川尚宏氏、石田亮史氏は取締役(非常勤)にそれぞれ再選され、就任しました。

2. 取締役及び監査役に支払った報酬等の総額

役員区分	報酬の総額	報酬等の種類別の総額		対象となる役員数(人)
		定額部分	変動部分	
取締役 (社外役員を除く)	100,836千円	76,680千円	24,156千円	6人
監査役 (社外役員を除く)	—	—	—	0人
社外役員	11,040千円	11,040千円	—	2人

(注) 1. 当事業年度末の人員数は、取締役10名、監査役2名ですが、うち取締役3名、監査役1名は無報酬であり、上記人員には含まれておりません。

IV 業務の適正を確保するための体制

1. 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

- (1) 当社は取締役、社員を含めた行動規範として、「NED倫理・行動憲章」と「行動指針」を定め、これらの遵守を図る。
- (2) リスクマネジメントおよびコンプライアンスを維持運営および推進するため、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、その下に事務局（業務相談窓口）を設置する。また、各部にリスクマネジメント担当者、コンプライアンス推進担当者を置き、全社的に法令遵守が確保される体制をとる。
- (3) 取締役および使用人のコンプライアンスの徹底を図るため、「コンプライアンス通報窓口（内部窓口、グループ通報窓口）」、「ハラスメント相談窓口」「ハラスメント電話相談窓口」を設置し、社内に効果的に周知し、適宜、法令等の遵守状況をモニタリングする。また、「インサイダー取引防止規程」を定め、取締役および使用人によるインサイダー取引を禁止している。
- (4) 取締役会については、「株式会社NHKエデュケーション取締役会規則」を定め、その適切な運営を確保し、定例で開催するほか必要に応じて随時開催し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互に業務執行を監督し、法令・定款違反行為を未然に防止する。万一、取締役が他の取締役の法令・定款違反行為を発見した場合は直ちに監査役および取締役会に報告するなどして、その徹底を図る。
- (5) 執行役員については「執行役員制度規程」を遵守し、職務執行の法令・定款への適合を確保する。
- (6) 監査役は、取締役の職務執行、経営機能に対する監督強化を図る。
- (7) コンプライアンス関連の研修、社内通達等による啓発、社員総会などによる意識づけに努め、全社的な法令遵守の一層の推進を図るとともに、「稟議規程」等の適正な運用により、取締役の職務執行の透明性を確保する。

2. 取締役の職務の執行に係わる情報の保存および管理に関する体制

- (1) 「文書管理規程」により、資料等の扱いを明文化し、取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に適正を期す。
- (2) 「株主総会議事録」「取締役会議事録」「役員会議事録」については、「文書管理規程」に基づいて適切かつ確実に保存・保管し、「役員会議事録」については、取締役及び監査役が常に閲覧可能な状態に置く。
- (3) 「情報管理規程」に基づき、役員社員等が業務上取り扱う情報について、適切な管理・運用を行う。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

- (1) 当社は、当社の業務に係るリスクとして、投資的リスク、下請法等法令違反につながるリスク、企業機密への不正アクセス・漏洩等情報セキュリティ的リスクなどを認識し、信用調査、対応マニュアル等を整備する。また、公共放送NHKの関連団体グループの一員として、公金の扱いについては特に厳正を期し、万が一にも社会的な指弾を受けることのないよう注意を払う。

- (2) リスクマネジメント責任者を代表取締役社長とし、リスク管理体制の整備・運用にあたる。
- (3) 内部監査部を設置し、各部門のリスク管理状況を監査し、定期的に取り締役会および監査役に報告する。
- (4) 危機管理と予防的管理についての体制を充実し、研修等を含め、損失の危険の管理について全社的な認識向上を図る。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 職掌分掌に関する諸規程を定め、取締役および各部門の所管と権限を明確にし、経営に関する意思決定および職務遂行を効率的かつ適正に行う。
- (2) 重要な意思決定については、常勤取締役等による役員会などにより多面的に検討し、慎重に決定する仕組みを設ける。
- (3) 中期経営計画およびそれを受けた年度事業計画を策定し、事業ごとの目標値を設定し、業績を把握し、適宜見直しを行う。
- (4) さらに効率的に職務を執行するために、内部統制との関係を考慮しつつ、案件に応じた職務権限の委譲を検討する。

5. 会社並びにその親会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当社の親会社にあたるNHKの子会社等の事業が適切に行われることを目的として、「関連団体運営基準」により、事業運営およびこれに対するNHKの指導・監督等に関する基本的事項が定められており、当社も該当している。
- (2) NHKは、「関連団体運営基準」に関する事項およびNHKが指定する事項について、監査法人等に委嘱して関連団体の業務監査を実施し、監査法人等の報告に基づき、関連団体に対し必要な指導・監督を行っており、当社も該当している。
- (3) NHKの監査委員が当社に対し営業の報告を求め、または業務および財産の状況を調査する場合には、当社は、適切な対応を行う。
- (4) NHKは、全国民の基盤に立つ公共放送の機関として、不偏不党の立場を守って、放送による言論と表現の自由を確保し、豊かで、良い放送を行うことを目的とした法人である。

また、放送法により、NHKに対する公共的規制は、国民の代表である国会を中心として行われ、毎年度の予算・事業計画は国会での承認を要している。NHKには、経営方針その他その業務の運営に関する重要事項を決定する権限と責任を有する経営委員会が設置され、会長等による業務の執行と監督の機能が明確に分離され、適正なガバナンスが確保されており、業務の実施にあたっては、「NHK倫理・行動憲章」の策定、「通報・相談窓口」の整備などにより、適正が確保されていると理解している。

6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

- (1) 監査役からの求めがあった場合には、監査役の職務を補助すべき使用人として、当社社員から監査役補助者を任命する。
- (2) 監査役の職務を補助する部を経営総務室とする。
- (3) 監査役より監査業務に必要な命令を受けた経営総務室社員は、その命令に関して、取締役、経営総務室統括部長等の指揮命令をうけない。

7. 取締役および使用人が監査役に報告をするための体制および報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制

- (1) 取締役または使用人は、法定の事項に加え、当社に重大な影響を及ぼす事項の内容を、監査役にそのつど報告するものとする。
- (2) 監査役は、いつでも必要に応じて、取締役および使用人に対して報告を求めることができる。
- (3) 当社は、監査役に報告をした者に対して、その報告を行ったことを理由として不利益な取扱いを行うことを禁止する。

8. 監査役職務の執行について生ずる費用の前払い等に係わる方針に関する事項、およびその他監査役職務の執行が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 監査役からその職務の執行について生ずる費用の前払い、負担した債務の弁済等の請求があったときは、当該請求に係わる費用または債務が、監査役職務の執行に必要な場合を除き、当該費用または債務を処理する。
- (2) 監査役は、重要な会議に出席するとともに、議事録が作成された場合は、その事務局はこれを監査役に送付する。
- (3) 内部監査部の行う監査の結果とその改善状況は、監査役にも報告されるものとし、監査役と内部監査部の間で定期的な情報交換を行う。

【業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要】

当社の取締役会は、取締役10名（うち、非常勤取締役4名）で構成されており、2名の監査役（うち、非常勤監査役1名）も出席し、業務執行状況の報告が行われるとともに重要事項の審議・決議を行っています。

また、2016年6月に任用した常勤監査役は、取締役会のほか役員会等の社内の重要会議に出席するとともに、資料の査閲、取締役からの直接聴取を行い、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備しており、経営監視機能の強化および向上を図っています。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を毎月開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定を行っています。また、毎年「NEDリスクマネジメントハンドブック」の発行と全社員への配付、全社員等を対象とした研修活動も定期的実施しコンプライアンスの周知徹底を図っています。当社の内部監査部門では、年度ごとの内部監査計画に基づきモニタリングを実施しています。

【業務の適正を確保するための体制の評価】

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」という6つの観点から評価し、整備状況および運用状況の有効性を確かめました。また、業務上重要なリスクを抽出した上で評価し、必要な対応（内部統制）が実施されていることを確かめました。その結果、2020年3月31日時点における当社の内部統制は、概ね有効であると判断しました。



**NHK EDUCATIONAL
CORPORATION**